

青木村子どもはつらつネットワーク通信

平成27年度 第127号 4月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

青木村が、『田舎暮らしの本』の「住みたい田舎ベストランキング」村部門 NO.1 になりました。

そこで県外から来られた0歳～中学生のお子さんを持つ保護者の方々に、青木村の子育てについてお聞きました。

青木村に来てくれた方々へ…
青木村を選んでくれて、ありがとう！！



Q1. 青木村に越してこられたのはいつですか？

2004年10月

2年前位です。

6年前

住宅購入は2006年ですが、転入は2012年3月です。

子どもが保育園入園の年です。

2014年3月

Q2. 青木村に住みたいと思われた理由はなんですか？

以前の都市部での生活は仕事もレジャーもパターン化しており季節感なく毎年が過ぎていました。遠出のレジャーは渋滞必至の為多くの休日は近郊の公園かショッピングセンターという生活が多く、窮屈さを感じ地方への転居を考えました。10か所程度検討しましたが、仕事で関東、北陸、東海へ行く為ここへ、動きやすいエリア、豪雪地以外ということを探しました。青木村への決定理由は役場を中心に広がる地形にまとまりを感じたことと、上田、松本、麻績へ行きやすいこと、1時間程度で複数のスキー場や多くのレジャーへ行けることが大きな理由です…村であることも理由の一つです。



山に囲まれた立地と、「村」であることを選んで独立していたこと。1 クラスの子どもの人数も多く（自然豊かな場所であるにもかかわらず）子育てしやすそうだなと思ったので。



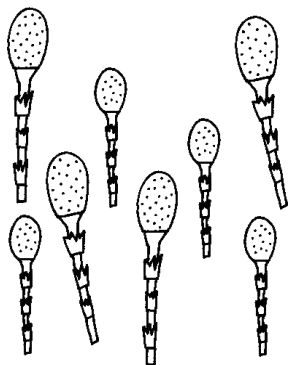
夫神岳の美しさ、四季にわたる自然の移ろいを感じられることです。

他にも候補地がありました。自治体が人口を増やそうとIターンやUターン政策を推進しているにもかかわらず、行ってみると住民は“よそ者に来てほしくない”と考えていたりします。青木村を訪れた時に会った方々は迷いなく「青木において！」と言いました。ここならやっていけるかもと思ったことがきっかけです。

私の夫は東京の都心で育ったので、ずっと田舎に憧れており、青木村に初めて訪れた時に豊かな田園風景と青木三山に囲まれたのどかな景色を目にして、すぐに“ここに住みたい”と思って引っ越してきました。青木小学校の評判がとても良かったこともあります。

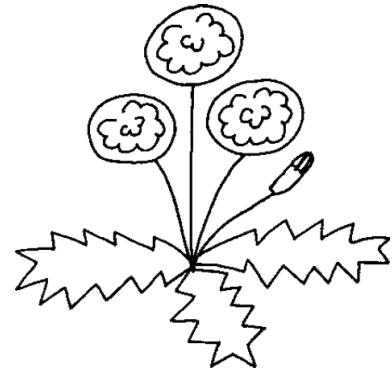
子育てに都会は向いていないと思い、田舎にIターンしたくて移住先を色々探しているところ、偶然情報誌で青木を見つけました。移住者交流会に参加しいい場所だと思い決めました。

Q3. 子育てについて、実際に住んでみて良かったことは？



田畑を無料で貸していただき、子どもも土と触れ合う機会がたくさんできました。四季折々の山の変化、美しい星空を当たり前に見せてあげられるところ。村の人が水曜クラブや学習支援などで多く関わっているところ。花まる学習会との交流があること。1 学年 40 人前後という人数がちょうどいいし、大学生との交流もたくさんあっていいです。

自然がいっぱい残っていて余計なものがないので努力をしなくても子どもは自然と触れ合える生活があります。村の人が挨拶をし合える環境が素晴らしい！自治体がより良い子育てを目指そうとしているところ。



東京と違って安心して子どもたちを外遊びさせることができることがとてもいいです。豊かな自然に囲まれて、畑で野菜作りができたり、山登りや虫取りがすぐにでき、のびのびと過ごせてとても良いです。

出産祝い金があること。子どもを温かい目で見守ってくれる方が多くいること。地域の方が作ったお野菜などを分けてくれること。

上田市に少し住んでいましたが、青木村は役場、保育園、図書館などの公共施設が徒歩圏で移動できる点が良いです。

何といっても3人目が保育料無料は家計が本当に助かりました！また、ご近所の方や村全体でも子どもたちを温かく見守ってくださることが嬉しいですね。

Q4. 子育てについて、実際に住んでみて不便に感じたことや改善してほしいことは？



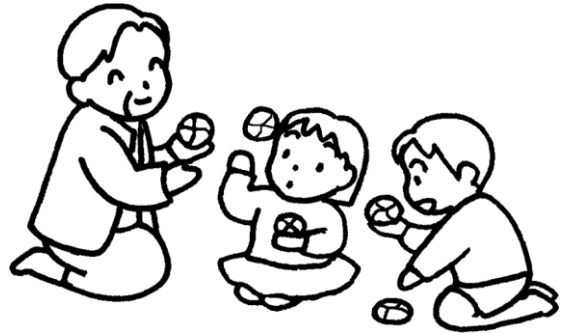
んー、思いつきません。強いて言えば、子どもがプールに入れる時期がちょっと短いですね。8月末のプールはちょっと寒いみたいで…。

体調をくずした時に、上田市まで行き病院を探さねばならない点。診療所でできれば見てもらいたいです。

登下校中、道路に歩道がない個所があったり、あまりにも人通りがないのでちょっとでも暗くなると街灯のないところは、防犯面で心配になります。

村が大きく、学区区域なども広いので、子どもが友だちの家へ行くのに車で送るようになってしまふことが残念です。

変化を嫌がる人が多いのか、「ずっとそうだったから」という理由で続けていることがいくつも見受けられます。

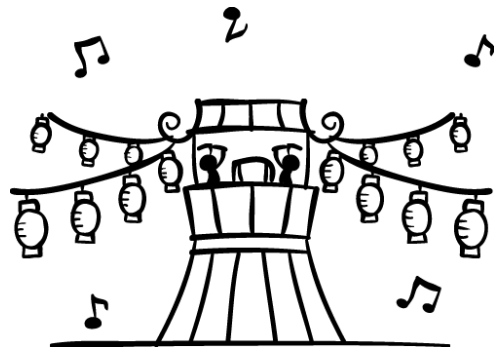


学校も地域も昔から残る習慣の見直しがあまり進んでいないようです。大切に守るべきことと改善していったほうがいいことの整理ができると、もっと住みやすく心地の良い子育て環境になると思います。

Q5. 青木村での子育てについてどう思われますか？

わくわく広場やお話会など、アンテナを張れば子どもと楽しめるイベントが定期的に行われているので、子どもが小さい時もお友だちができてよかったです。せっかく自然豊かな土地なので、自然の素晴らしさ、厳しさを味わえるイベントがもっとあったらいいなと思います。また、お祭りや地区の活動を「しかたなく」やっている雰囲気を感じることもあるので、伝統的なことなどせっかく残っているなら、みんなで楽しく行って、次の世代につなげていけたらいいなと思います。

一世帯のお子さんの数が多く、育てやすい環境なのだなと思います。ただ、お祭りごとでもっと子どもたちが活躍できる場があったらいいなとも思います。



義民太鼓や壁塗り踊りなど、村の伝統芸能が子どもたちに受け継がれていることがとても素晴らしいと思いました。村の方々に子どもたちが見守られていることが、とてもありがたいなあと感じます。人数が少ないので、子ども一人一人に目が行き届いて安心です。

自分の親以外のたくさん
の大人たちが関わっ
ていて素晴らしいと思
います。

子どもが伸び伸びと成長しているのを見ると、
移住してきて本当に良かったと思っています。



目指している方向は素晴らしいと思うので、
もっとみんなで一体になって前に進んで
いければいいなと思います。

はっきりとした四季の変化、また、五
感で感じる自然の中でのびのびと生活
できることに、引っ越してきてよかつ
たと思います。また教育も充実してい
るところもありがたいですね。

Q6. 青木村に住んでの感想をご自由にお書きください。

お母さんたちで何かをしようとしたときに、村長さんが時間をとって相談に乗って
くださいました。やりたいと思ったことを実現できそうな気がします。子
育てに手厚いイメージが青木村には根付いている気がするので(村外の方のイ
メージも子育てに手厚いイメージがあるようです)、もっとママさんの活動を
盛んにしていければよいなあとと思います。



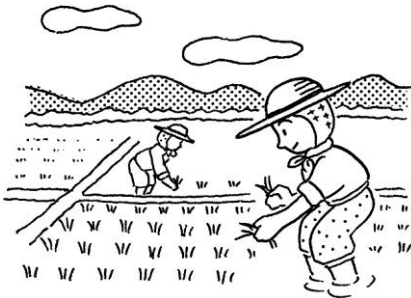
子どもが赤ちゃんの頃、いつも温泉に入っ
ているいろいろな方に、「抱っこしてあげる
から自分の体を洗っておいで」と言ってもら
ったことが嬉しかったです。

空気も水も澄んでいてきれいでゆったりと暮らせます。
東京では隣近所の付き合いとか全くなかったけれど、青木村は近所の方々がと
ても親切で温かく、配りものをしている時にお茶をご馳走になったり、“おや
き”を「作ったから持って行って〜」といただくこともあり、楽しいです。

自治体は子育てに力を入れています、住民の方は思いのほか関心のない人が多いようで、政策も停滞しているように思います。もっともっと整えた方が良くもたくさんあり、子育てを村の政策に上げていくのなら、もっと前を向き進めていかなければと思います。



豊かさの尺度は人それぞれ異なりますが、子どもたちが幼児期にこの土地で養った感性は都会では得られないと思います。都会では他人との関係が希薄であり限られた人しか打ち解けることができませんでした。その中で育つ子どもは何か抑圧されているようで、多くのことに気を遣い楽しい大人になれないような気がします。周りの人を幸せにするには、まず自分が楽しまなくてははいけないと思います。どんな状況でも楽しいことが見つけれられる人間になれるような子どもたちを育てられるよう、青木村での生活を家族全員で楽しみたいと思います。



引っ越して数日の時、隣の家のお母さんがわくわく広場の手紙をもって誘いに来てくれて、まだ何もわからず心細かった気持ちが温まったのがとても思い出に残っています。その方に限らず、初対面でも親切で優しい方に青木村でたくさんお会いするなぁと感じます。



編)集)後)記)

県外から来られた方のお話から、改めて青木村の良さにたくさん気づくことができました。これからも皆で良い村にしていきたいですね。

平成 28 年度前期のはつらつネットワーク参加団体活動計画表を作成いたしました。日程をご確認いただき、是非積極的にご参加いただけたらと思います。詳細は、各団体の代表者または教育委員会にお問い合わせください。